

「メカガールのススメ」

徳島大学 工学部 2 年 矢部佐和子

◆来場者の方へ。

正直、メカガールやリケジョと言われてもピンとこない方も多いかもしれません。でも、こどもの頃、自分で何か作りたいと思ったことはありませんか？ロケットや飛行機、自動車がどうやって動くんだろうと思ったことはありませんか？こんなものがあったら便利なのに、と思ったことはありませんか？

近年、女性のものづくりに注目が集まっているように感じます。デザインのおしゃれな家電、美容系の家電など、女性の感性で活動できる場が増えているとメカガールである私は思います。（もちろん、マーケティングや企画で参画してもいいのだけれど。）しかし一方で、女性のエンジニアの数は本当に少ないです。機械系の学科に進む女性は男性の 1 割にも満たないのが現状です。企業や政府は女性のエンジニアも必要だと思うけれど、女の子はあまり理系に進まないことに加えて、機械系や電子系に進むことはあまりありません。そんな中で、メカガールのコミュニティを作りながら、メカガールの面白さ、素晴らしさを伝えようと思って、私はこの本を企画しました。今日は東京ということで徳島大学の私はアウェイの雰囲気では今日は戦います。拙いプレゼンではありますが、少しでも応援いただければ嬉しいです。今日はよろしく願いいたします。

◆企画者プロフィール：

文系も経験した社会人メカガール。

2010 年度に東京大学法学部を卒業。

- ダイヤモンド社での学生記者クラブの立ち上げに関わる
- 『難病東大生』を出版（出版甲子園からサンマーク出版）
- フリーペーパーなども含め、インタビューした人は 100 人以上
- 団体「リケジョ」の創設代表とも知り合い

2014 年度から徳島大学工学部機械工学科に在籍。

- 実家は機械製造企業
- 日亜化学株式会社（青色 LED で有名）の奨学生
- メカガールという団体を立ち上げ
- 山口前科学技術担当大臣と地元テレビ番組で対談
- 学長や学部長のお墨付きもあり
- 徳島県科学技術県民会議委員、徳島県総合計画審議会委員など行政の幅広い委員として活動している
- 地元（徳島）テレビ局の夕方情報番組月曜日コメンテーター

◆企画概要

進路選択のときに先輩がいない機械系女子に向けたロールモデル本。女子中高生やその先生は大学生活、企業の担当者は採用の際のメカガールの考え方、女子大生は働くメカガール、働いているメカガールは他のメカガールがどんなことを考えているのか、を知れる本。読み物というだけでなく、コミュニティづくりの一環としての立ち位置を築く日本初のコミュニティ本。

◆構成案：

はじめに

第 1 章 実際の大学での生活は？

コラム 1 文系にもいた私が機械の学生になって感じること

第 2 章 メカガールで得したこと、損したこと

第 3 章 働くメカガール

コラム 2 こうやればメカガールは集まる？人事の方へ。

第 4 章 社会はメカガールのことをどう見てる？

第 5 章 各地のメカガールと現役女子高生で対談

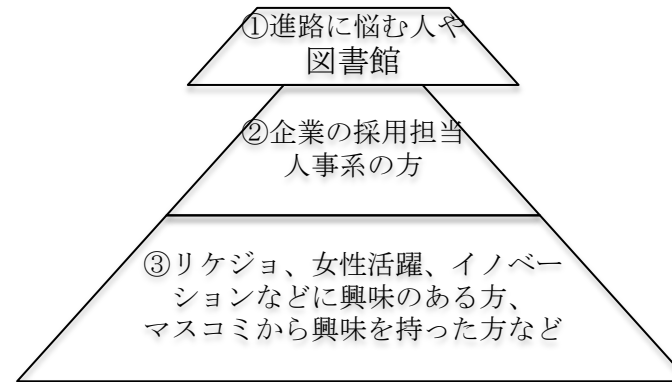
—メカガールに関する Q&A (高校生と大学生)

コラム 3 今回のインタビューを通して

◆類書が売れてない！なら売り方を考えよう！

日本初？コミュニティづくりと並行した本。

読者イメージ



類書 2 冊が売れていないことを考えると、普通に販売してもこの手の本は売れない。よって、

- (1) 仲間づくりをしながら本づくりを進めること
- (2) 中高大の進路指導室や図書館に置いてもらえるように活動
- (3) 各地でイベントの実施

ちなみに徳島大学図書館や徳島県立図書館、徳島県の科学技術関連施設ではイベント実施の内諾は得ています。